

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【公開番号】特開2016-89886(P2016-89886A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-222530(P2014-222530)

【国際特許分類】

F 1 6 H 13/04 (2006.01)

F 0 2 B 67/06 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 13/04 C

F 0 2 B 67/06 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月13日(2017.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

【図 1】この発明に係る動力伝達ローラの実施形態を示す図であって、(a)は正面図、(b)は(a)中の b - b 線に沿う断面図

【図 2】図 1 (a) に示す動力伝達ローラの、(a)は側面図、(b)は背面図

【図 3】図 1 (a) に示す動力伝達ローラの図 1 (b) 中の I I I - I I I 線に沿う断面図

【図 4】図 1 (a) に示す動力伝達ローラの斜視図

【図 5】図 1 (a) に示す動力伝達ローラの分解斜視図

【図 6】図 1 (a) に示す動力伝達ローラの作用を示す平面図

【図 7】図 1 (a) に示す動力伝達ローラのダンパの作用を示す縦断面図であって、(a)は摩擦力によってダンパが機能している状態、(b)は摩擦力が小さくダンパとしての機能が発揮されていない状態

【図 8】動力伝達ローラに偏心カム機構を併設した状態の平面図であって、(a)は動力伝達状態、(b)は動力切断状態

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】削除

【補正の内容】